影中図書室だより　令和7年5月号

　日中は汗ばむ陽気になりました。体を動かすのも気持ちよく、いろいろなことに挑戦したくなりますね。
　初めてのことに挑戦するときには、まず調べてみてはどうでしょう。かかる時間や費用、どういう流れになるかがわかると、自分がやっているイメージがわいて、より挑戦しやすくなります。
　図書室で調べることもできるかもしれません。ぜひ利用してください

図書室利用状況（４月）

貸し出し冊数　　１９０冊（昨年度４月は１１０冊）
利用者数　　３２４人（昨年度４月は２７０人）

（１年生オリエンテーション分は除く）

読書Ｑ＆Ａ

Ｑ：本を読む時間がありません。読書の時間を確保するには？
　Ａ：ちょっとしたすきまの時間を使いましょう。学校の休み時間や、夕食を待つ間、寝る前など、５分くらいずつでも積み重なると十分な読書の時間になります。

Ｑ：わからない言葉があったらどうすればいいですか？
　Ａ：辞書などを使って調べましょう。
　　言葉の前後から、「こういう意味かな？」と予想してみるのもいいと思います。

Ｑ：久しぶりに読んだら、内容を忘れてしまいました。
　Ａ：少し戻って読み返しましょう。
　　登場人物の説明シーンなど、重要な場面にふせんを貼ったり、しおりをもう一つ使って挟んでおいたりすると、次から読み返すのが楽になります。

Ｑ：読書に集中できないことがあります。
　Ａ：本に出てくる人やものの中から、お気に入りを見つけるのがおすすめです。
　　好きな登場人物がいると、話にぐっと興味がわきます。

Ｑ：本を読む理由は何ですか？
　Ａ：本の中で、知らない世界を冒険したり、素敵な登場人物に出会ったり、楽しいことや興味深いことを経験できるからです。気分転換にもなります。

２０２５本屋大賞作品　展示中です

本屋大賞部門

大賞
「カフネ」
阿部暁子

食べることは生きること。どん底でもお腹は空く。

２位
「アルプス席の母」
早見和真

甲子園常連校を倒すことを夢見て、母子が大阪へ向かう。

３位
「小説」
野崎まど

小説にはまる主人公が潜り込んだ屋敷には、ある秘密があった。

（近日入荷予定）

４位
「禁忌の子」
山口美桜

自分と瓜二つの溺死体に隠された真相とは？

５位
「人魚が逃げた」
青山美智子

ＳＮＳ上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入り。それに人々が興味を持ち始め･･･。

翻訳大賞部門

１位
「フォース・ウィング
第四騎竜団の戦姫」
レベッカ・ヤロス

竜の騎手たちが魔法の力で国防を担う国が舞台。主人公は、書記官科と騎手科のどちらを選ぶのか、訓練で生き残れるのか･･･。すでに続編もあります。

２位
「白薔薇殺人事件」
クリスティン・ペリン

「いつかおまえは殺される」という予言通りに殺された大叔母。記録を手がかりに、主人公が犯人捜しに挑む。

同率２位
「別れを告げない」
ハン・ガン

生きる力を取り戻そうとする女性同士が、済州島４・３事件を生き延びた母親の人生をたどる。